



隊友千葉だより

平成31年1月号 (No. 57) 千葉県隊友会事務局

〒260-0042 千葉県千葉市中央区椿森1丁目26-9コンラッドビル4階 電話 043-306-2095 FAX 043-306-2096
電子メール chibatayuu@angel.ocn.ne.jp ホームページ http://www.chibatayuu.com/

【事務所 開所時間】
月・火・水・金曜日
1000~1500 山田理事役

される隊員の英字名札の作製など興味ある話を聞いた。



補給倉庫見学

引き続き、隣接する補給倉庫（最近完成、即動倉庫と命名）を見学した。陸自の備品器材・被服器具・糧食、不要決定待ち品目など多種多様な補給品が納められている現状を確認した。特に災害派遣、国際緊急援助隊第1派・PKO派遣など即動を要求される補給品の管理・保管要領は、大いに参考になった。また昔懐かしい缶詰タイプの非常用糧食が最近、廃止され、レトルトタイプに置き換わっている状況に皆、なるほどと感嘆を覚えた。



体験入浴

最後に、陸自備品学校の教育課程入校学生（備品器材課程）の開設する野外入浴施設を見学、併せて希望者は、入浴を体験した。この入浴所は、災害派遣の被災者支援で度々開設される。このため、野外入浴所について市民の生の声を聞くことが教育上、重要であるとの考えのもと、定期的に近隣の市民に開放、自由に入浴して、所見をもらっている。

最後に本研修を受け入れて頂いた上田松戸駐屯地司令、草間東補給処松戸支隊長以下、案内、説明、輸送、給食を担当して頂いた隊員の皆様にご協力をお借りして御礼申し上げます。

【県事務局】

柏忠霊之碑参拝 鈴木会員 感謝状を贈呈される



忠霊之碑参拝

9月23日(日)、9時から柏公園内の忠霊之碑を柏市遺族会12名、柏支部5名、沼南支部3名及び柏市役所保健福祉部1名で参拝した。天候にも恵まれ、忠霊之碑前において、導師の説経のものと戦死者・戦没者の安らかなることをお祈りした。なお、柏支部の鈴木通彦会員は、本「忠霊之碑」などの歴史・由来を詳細に踏査し、その結果を柏市に提出、市行政に寄与した功績で12月25日(火)、柏市長から感謝状を贈呈された。

【柏支部長 阿比留 義順】



感謝状
鈴木通彦 様
柏市役所保健福祉部 阿比留 義順 氏
柏支部長 阿比留 義順 氏
沼南支部長 阿比留 義順 氏
柏市遺族会 代表 阿比留 義順 氏
柏市遺族会 副代表 阿比留 義順 氏
柏市遺族会 幹事 阿比留 義順 氏
柏市遺族会 庶務 阿比留 義順 氏
柏市遺族会 会計 阿比留 義順 氏
柏市遺族会 広報 阿比留 義順 氏
柏市遺族会 総務 阿比留 義順 氏
柏市遺族会 庶務 阿比留 義順 氏
柏市遺族会 会計 阿比留 義順 氏
柏市遺族会 広報 阿比留 義順 氏
柏市遺族会 総務 阿比留 義順 氏

海自館山基地 隊友会説明会

県隊友会は、会勢拡大のため、逐次、県内駐屯地・基地で隊友会の説明会を開催している。今回、11月20日(火)、小淵会長、安達副会長、川村館山支部長、三好安房支部長、河西監事役、



隊友会について説明



先任伍長も参加して懇親会

17時30分から館山航空基地厚生センター「無香地」において、群司令をはじめ各指揮官、総務班長及び各先任伍長の計13名、隊友会会員10名の合計23名で懇親会を実施した。小淵会長挨拶、小俣群司令に挨拶を頂いたあと、瀬戸山21航空群先任伍長による祝杯で開宴、和気あいあい賑やかに懇談した。

【館山基地担当理事役 日向錦次郎】

事務局からの連絡事項

- ◆第13回県隊友会ゴルフ大会開催について
◎開催日 平成31年5月21日(火)
- ◎開催場所 ムーンレイク茂原GC
- ◎競技団体戦は支部(3名〜5名)対抗戦(混成支部も可) 個人戦は家族・協力者等の参加を歓迎
- ◎担当(連絡先) 四街道支部 齋藤 誠祐
Eメール: satou-sei@seisai.net
- ◆平成30年度後期理事役会及び支部長等会議
平成31年3月4日(月)、14時30分から千葉市民会館会議室で実施。県理事役・監事役及び支部長等は参加をお願いします。
- ◆平成30年度千葉県自衛隊入隊予定者激励会
平成31年3月10日(日)、13時から四街道市文化センターで開催。今春以降、自衛隊に入隊する若者を激励します。
- ◆平成31年度県隊友会通常総会・表彰式・懇親会
4月17日(水)、午後 三井ガーデンホテル千葉(千葉市中央区)で開催予定
- ◆平成31年度年会費納入のお願い 〓年会費の皆様の、31年度分会費として3千円を3月31日までにお願いします。
- ◆会運営協力費のお願い 〓財務基盤改善のため、入会10年経過、75歳未満(今年は昭和19年4月2日以降生まれ)の終身会員の皆様に会運営協力費(寄付) 3千円をお願いします。なお、既に10回分以上協力頂いた会員の方は除いていただきます。
- ◆東京オリンピック・パラリンピックへの協力 〓希望される正会員は、隊友紙折込みの募集を隊友会本部に各自ファックスして下さい。

小淵会長 新年ご挨拶



明けましておめでとうございます。在葉自衛隊隊員の皆様、防衛関係諸協団体団体の皆様として、千葉県隊友会会員の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

さて昨年は、日本の安全保障に影響が大きなできごとがありました。それはまず、6月12日史上初の米朝首脳直接会談です。すなわち、一昨年の年末、米国防長官トランプ大統領は、北朝鮮に対して最後通牒とも言える完全非核化を突きつけた、戦力投入をも辞さないとの意思を匂わせました。北朝鮮の金正恩委員長は、年明けの声明でこれを受け入れ(窮鼠猫を噛む的な決断はしなかった)、4月の朝鮮半島南北首脳会談では、板門店宣言がなされ、そして迎えた米朝首脳会談。金委員長は朝鮮半島の完全非核化に向けた断固とした揺るぎない決意を確認し、トランプ大統領は北朝鮮に安全の保障を与えること約束したのです。平和と安定を保つことが、為政者にとって最も大切であるとの考えは賢明であると理解できるでしょうが、金委員長の背水の陣での決断の本音・思惑は何なのか、そして米国防長官トランプ大統領の次なる仕掛けは何か(あるなしを含め)、今年の両首脳の言動に注目せねばなりません。それと、もう一つ大きなできごとは、米国防長官トランプ

が、自国米国の利益の観点から各国へ、経済を中心とした要求を相手国に明示し、その反応を見ながらテールしていることです。中でも中国を競争国として名指しし、貿易競争とも呼ばれる関税引き上げ等の実行措置を働きかけ、ついに当面の各種課題について中国をして屈服させていることであり、これが今後の米中関係(中国が軍事面で米国への挑戦を継続するや否や等)やロシア・韓国等を含めた世界の安全保障をそれぞれ国内において、どのような影響をもたらしていくのか、これも今年の大きな着目点です。

今年、己亥の年です。この年は、「今現在の状況を維持し、守りの姿勢に徹した方がいい」年、「しっかりとエネルギーやパワーを蓄える」年、「万病を予防する」年だそうぞです。先のような動きに、「日本が何もしないわけにはいかない」という考えもあるかもしれません。トランプ大統領が米国防第一主義を掲げ、習近平主席が党・軍・国家全ての最高指導者の長期地位を得た中、経済等国際的課題への取り組みに日本への期待も高まっているのが現在の状況でもあり、積極的平和主義を標榜する我が国として、経済はもとより、安全保障、文化等あらゆる面で世界の協調関係の維持に貢献することは大事であり、「予防」という意味でも重要なことになっていくでしょう。守りの姿勢に徹し、エネルギーやパワーを蓄えるべきは、むしろ防衛面と言えるでしょう。我が国自身の独立と安全を担保する防衛力整備

東部方面隊最先任上級曹長交代式

陸自東部方面隊（高田克樹総監）は、平成30年12月2日（日）、朝霞駐屯地において方面隊創立59周年行事を開催し、その中で東部方面隊最先任上級曹長交代式を行った。式には、現役准曹、指揮官、来賓、音楽隊が参加し、識別徽章引継ぎ、方面隊旗引継ぎ、総監による離任最先任上級曹長越前准陸尉及び着任最先任上級曹長齊木准陸尉の紹介が行われた。離任者挨拶の後、音楽隊演奏の中、参加現役隊員は、それぞれに挙手の敬礼を行い、敬意を表明した。今回、着任の第5代最先任上級曹長齊木准陸尉は、初の女性自衛官。



齊木准陸尉着任挨拶

第61回全自衛隊ラグビー大会 習志野チーム惜敗

全国各地から18個チームが参加、A、B、Cの3ブロックに分かれて12月2日から10日まで習志野、松戸駐屯地等で開催。Aブロック（最も強いクラス）決勝は、12月10日（月）、13時から奥戸総合スポーツ公園陸上競技場（東京都葛飾区）で行われ、習志野駐屯地と船岡駐屯地チームが対戦した。結果は、29対28で船岡チームが勝



習志野チームの攻撃
習志野応援団

北方領土返還要求中央アピール行進

北方領土隣接協会長 石垣根室市長は、国民意識の高揚と返還に向けた外交交渉を支援する目的をもって、12月1日（土）、13回目となる北方領土返還要求中央アピール行進を行った。

10時半から都内ベルサール東京日本橋4階会議室において宮腰北方大臣をはじめとする国会議員、高橋北海道知事、北海道議会議員などを来賓に迎え、各都道府県代表、連合、関係支援団体など500名余りが参加、出発式を行った後、日本橋タワー、呉服橋、鍛冶橋を経て区立楓川弾正橋公園まで1.7kmを街頭行進し、北海道根室の思いを中央に届けた。今回は、北方領土返還交渉が具体的に動き出したことを踏まえ、「北方領土問題を解決して平和条約の早期締結」をスローガンとし、

った。習志野地チームは一時リードを奪う場面もあり、健闘したが、今一歩及ばず、今年も船岡チームの連覇を許した。

これまでのように、ただ単に領土返還を連呼する姿勢から趣が一変した。来賓や参加者の顔にも希望の色が垣間見えた。



隊友会参加者
旗を掲げ行進

安房支部 鴨川市災害ボランティア立ち上げ訓練に参加

安房支部は、11月17日（土）、鴨川市社会福祉協議会主催の第3回災害ボランティア立ち上げ訓練に支部長以下7名が参加した。訓練には、館山市・南房総市等近隣の社会福祉協議会他、鴨川市災害ボランティア連絡会に登録する団体など約50名が参加した。

初めに社会福祉協議会担当者から広島での豪雨災害ボランティアセンター（災害VC）派遣の実体験から得られた教訓、災害VCの役割とその困難性について報告があり、訓練の重要性を認識した。以後約2時間、会員はVCスタッフとして役割に応じた訓練を実施。会員は、まだまだシナリオに沿っただけの訓練段階ながら、一応の流れを習得することができた。今後は、さらに実動に近いレベルの訓練を目指すことを参加者で確認し、訓練は終了となった。



訓練風景
訓練参加者

下総基地慰霊碑を清掃

10月31日（水）の基地慰霊祭に先立ち、28日（日）、午前9時から約2時間、下総水交会（会長河野美登氏）と合同で、総勢約30名で実施。県隊友会からは満洲沼南支部長はじめ沼南支部会員10名と竹田白井支部会員等が参加した。当日は、下総教育航空群監理幕僚浅野3佐も参加され、好天に恵まれ参加者皆気持ち良い汗を流し無事作業を終了した。作業終了後、総員の自己紹介・近況報告を行った。この慰霊碑に眠る殉職者のかかわりの深い会員も多く、当時をしのび涙を流した。最後に、監理幕僚浅野3佐の感謝の挨拶があり、会員は来年の作業参加を約束して解散した。【沼南支部長 満洲蘭哈爾男、同会員 県監事役 河西伸人】

30年11月・12月入会者

入会深謝・隊友会の発展にご協力を

- 【木更津】 鈴木 潔（海）
- 【我孫子】 稲村 佳和（陸）
- 【松戸】 西 明弘（海）
- 【四街道】 奥村 晶一（陸）
- 【船橋】 中道 正徳（陸）
- 【船橋】 松下 善美（陸）
- 【船橋】 長谷部 竜幸（陸）
- 【習志野】 辻 厚（陸）
- 【安房】 川名 康介（陸）
- 【松戸】 道満 一徳（陸）
- 【松戸】 瓜生 達也（陸）
- 【松戸】 木村 芳秀（海）
- 【沼南】 十川 幸夫（海）
- 【市原】 大木 栄一（陸）

【敬称略・順不同】

各地で防災備蓄倉庫に係る訓練を実施

平成30年3月、県隊友会は、千葉県との間で「災害時における隊友会の協力に関する協定」を締結した。各支部は、所在地域振興事務所と協定項目の一つである「災害時における防災備蓄品の抽出作業」のための訓練を実施した。

◆松戸支部

11月30日（金）、西部防災センター（松戸市松戸）において、東葛地域振興事務所の勤務者とともに、防災備蓄品の搬出に関する訓練を行った。支部から支部長以下藤尾県顧問を含む7名、東葛地域振興事務所から八塚企画係長以下3名が参加、顔合せ、備蓄品の確認、搬出要領の検討、質疑応答を行った。次年度は、同センター担任の松戸支部以外の支援要員を含めて、訓練することを確認した。【松戸支部長 多田紀幸】

◆長生支部・茂原支部

11月7日（水）、14時から16時まで長生地域防災備蓄倉庫（茂原市茂原）において長生地域振興事務所、茂原県事務所、長生健康福祉センター、茂原市災害対策室、一宮町・睦沢町・長生村・白子町・長柄町・長南町の各総務課関係者、県防災危機管理課（講師）、関係業者（講師）総勢30名と長生・茂原支部会員7名が参加。防災備蓄倉庫の概要説明・見学の後、備蓄物資の搬出、自家発電機・炊飯装置取扱い、簡易トイレ組立、エアートント設置訓練を実施した。備蓄倉庫は、面積に比し物資が多い。仮設トイレ、



沖風慰霊碑清掃

沖風慰霊碑清掃

11月24（土）、恒例となった旧海軍駆逐艦「沖風」の年2回目の慰霊碑清掃と草刈り作業を実施した。11時から12時まで大原自治会館にて8名で後期夷隅支部会議を行った後、6名が参加、勝浦市川津の「沖風」慰霊碑に移動し13時から約2時間をかけ無事、終了した。【夷隅支部長 高橋清三】



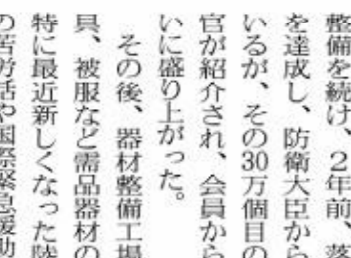
備蓄品の確認

炊飯装置取扱い、簡易トイレ組立、エアートント設置訓練を実施した。備蓄倉庫は、面積に比し物資が多い。仮設トイレ、



安房地区訓練参加者

性には予測の範囲内、隊友



落下傘整備

の他、航空ヘルメット、救命浮舟なども手掛ける。昭和29年創部以来60年以上にわたり完璧な整備を続け、2年前、落下傘30万個無事故整備を達成し、防衛大臣から第1級賞状を受賞しているが、その30万個目の整備を担当した女性技官が紹介され、会員から大きな拍手がわき、大いに盛り上がった。その後、器材整備工場に移動、天幕、野外炊具、被服など需品器材の整備状況を見学した。特に最近新しくなった陸自新制服の作製・縫製の苦勞話や国際緊急援助隊・PKOなどに派遣

煮炊き用物資等が古い。搬出経路についても2階からの階段でもローラーコンベアを使うので、搬出効率が悪い。危険であるため、改善意見（備蓄倉庫搬出器）を提出した。関係者には隊友会の特性を理解してもらった上に、今後のための良好な関係を構築できた。今後も支部員との連絡を密にし、更なる参加者の増員を図りたい。

◆安房支部

11月2日（金）、10時から支部長以下4名が参加、安房地域防災備蓄倉庫（館山市電ヶ原803）を研修した。今回は、初回の研修で、安房地域振興事務所から後藤信之事務所長以下4名が参加。当初、担当者相互面談として挨拶を含め主として隊友会組織、現状について説明した後、振興事務所側から保管物資など備蓄倉庫の現状及び引き出しの手順について説明を受けた。引き続き、備蓄倉庫を研修し、保管状況・搬出手順を確認、最後に意見交換を行った。これまで実際の抽出経験は、東日本大震災時のみで、実戦での混乱や困難性は予測の範囲内、隊友

松戸駐屯地部隊研修

県隊友会は、11月28日（水）、小淵会長以下会員38名が参加して陸自松戸駐屯地を研修した。11時から隊内厚生センターで駐屯地広報班長の足立1陸尉の駐屯地紹介を含む研修日程などの説明を受けた後、上田和幹需品学校長兼松戸駐屯地司令から挨拶を頂き、研修をスタートした。まず、駐屯地隊員食堂で部隊食の喫食体験後、三々五々、近傍の野草園（学生教育のため、毒草を含む各種野草を栽培）を見学、13時から関東補給処松戸支処落下傘部の整備工場に移動、落下傘整備を見学した。落下傘部は自衛隊唯一の落下傘整備部隊で女性技官が多く勤務、主として空挺傘・物料傘を整備して第1空挺団を支援している。この他、航空ヘルメット、救命浮舟なども手掛ける。昭和29年創部以来60年以上にわたり完璧な整備を続け、2年前、落下傘30万個無事故整備を達成し、防衛大臣から第1級賞状を受賞しているが、その30万個目の整備を担当した女性技官が紹介され、会員から大きな拍手がわき、大いに盛り上がった。その後、器材整備工場に移動、天幕、野外炊具、被服など需品器材の整備状況を見学した。特に最近新しくなった陸自新制服の作製・縫製の苦勞話や国際緊急援助隊・PKOなどに派遣

【安房支部長 三好文雄】